



「KCAPベンチャー1号ファンド」での投資について ～てんかん発作検知のウェアラブル機器を開発する「クアドリティクス株式会社」へ投資～



京都銀行（頭取 安井 幹也）と京都キャピタルパートナーズ株式会社（代表取締役社長 山本 洋史）が出資・運用する「KCAPベンチャー1号ファンド」は、「クアドリティクス株式会社」へ投資いたしました。

同社は、てんかん発作の兆候を事前に検知する医療機器開発を行うベンチャー企業です。本医療機器は心電図の波形から心拍変動を解析し、従来は予測が困難であったてんかん発作の予兆を事前に検知することで、事故やケガを未然に防止することを可能とするものです。同社は、患者さんご本人やそのご家族一人ひとりの安心と安全のため、本技術の社会実装を進めてまいります。

京都銀行と京都キャピタルパートナーズは、今後も成長が期待できる企業への積極的な支援を通じて社会課題解決に取り組み、持続可能な社会の実現に貢献してまいります。

記

1. 投資先概要

企業名	クアドリティクス株式会社
代表者	代表取締役 林 康平
所在地	京都市下京区中堂寺南町134番地
設立	2018年2月9日
事業内容	てんかん発作の予兆を検知し警告する医療機器・ソフトウェアの開発

2. 投資について

本件投資により「クアドリティクス株式会社」は、日本国内での治験実施や、グローバル市場に向けた事業開発と品質管理体制の構築を進めてまいります。

3. KCAPベンチャー1号の概要

名 称	KCAPベンチャー1号投資事業有限責任組合 (略称：KCAPベンチャー1号ファンド)
投資対象	関西圏を中心とした革新的な技術・サービスを展開するベンチャー企業 ※以下のいずれかに該当する企業は関西外でも投資いたします。 ・京都銀行および取引先企業の経営課題の改善あるいは新規事業協業等に資する事業を行っている。 ・日本発でグローバルトップが狙える可能性がある事業を行っている。
出 資 者	無限責任組合員（GP）：京都キャピタルパートナーズ株式会社 有限責任組合員（LP）：株式会社 京都銀行
ファンド総額	100億円
京都銀行出資額	99億90百万円
設 立	2024年9月13日
存続期間	12年（2024年9月～2036年12月） 但し合意により3年間の延長可能

以 上

京都フィナンシャルグループでは、「地域社会の繁栄に奉仕する～地域の成長を牽引し、ともに未来を創造する～」という経営理念に基づいた企業活動を行っております。今後も経営理念のより一層高いレベルでの実践である SDGs 達成に向け、地域の社会課題の解決に貢献してまいります。なお、関連するプレスリリースに SDGs の目標のアイコンを明示しております。

